

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

こんにちは、らくだです。

とうとう 11 月になりましたね。

朝窓を開けた時の空気の冷たさに、季節の移ろいを感じるこの頃です。

さてさて。

まずは月頭ということで、恒例のパブー版をご紹介します。

電子書籍の配信も早いもので 58 冊目になりました。

【らくだ図書館 (58)】

<http://p.booklog.jp/book/110772>

毎回言っている通り内容はこのブログのコピーですが、過去ログのまとめ読み等に便利なので、ご興味ある方がいらっしゃればよろしくお願ひします。

そしてもう一つ。

アルファポリス開催のエッセイ・ブログ大賞に今年も参加予定です。

以下、応募要項へのリンク。

【エッセイ・ブログ大賞】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/boshuu/>

読者投票は 12 月 1 日 (木) からなので、始まったらその時にまた告知しますが、ひとまずエントリーは完了しました。

おとしは 7 位でフィニッシュしましたが、去年は少し下がって 13 位という結果だったので、今年は去年より順位を上げたいところです。

こんにちは、らくだです。

このたび新たなコンテスト「小説家になろう×ベリーズ文庫&マカロン文庫ラブファンタジー大賞」が開催される模様です。

詳しい応募要項は下記参照。

ベリーズ&マカロンという甘い賞名の通り、女性向けの恋愛小説を募集するようです。

【応募要項】

http://www.berrys-cafe.jp/pc/contest/love_fantasy.html

- ・ 応募締切 2017年1月31日(火)
- ・ 募集内容 女性向けのラブファンタジー小説
- ・ 参加方法 なろうに作品を掲載し「ベリーズF大賞」のタグを設定
- ・ 規定字数 制限はないが7万~15万字推奨、本文最後に400字のあらすじを記載
- ・ 受賞作の扱い ベリーズ文庫部門は紙書籍化、マカロン文庫部門は電子書籍化
- ・ 禁止事項 18歳未満、二重応募、シリーズや続編の投稿などは不可

ちなみにベリーズ文庫といえば、「ベリーズカフェ」という小説投稿サイトで、独自のコンテストを開催中です。

(ベリーズ文庫大賞)

そちらも募集中の状態なのに、その上で小説家になろうとコラボするなんて、非常に勢いがありますよね。

というわけで。

女性向けファンタジーを書かれる皆様は、チェックされてみてはいかがでしょうか。

以上、「ベリーズ文庫&マカロン文庫ラブファンタジー大賞」の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

近ごろ急激に寒くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
自分はひどい冷え性なのでこの季節は湯たんぽが手放せません。

さて、紹介するのが遅れましたが、カクヨムで開催中の「あなたの街の物語コンテスト」の特設ページが更新されました。

【★獲得数ランキング】

https://kakuyomu.jp/special/entry/anatanomachi_ranking

応募締切は 11 月 30 日までですが、現段階（11 月 1 日集計）では、★ 100 前後がトップ作品みたいですね。

それから、もう一つ。

コンテスト参加作品の中からファンタジー小説を集めたページが新たに公開。

賞の特性上エッセイが中心なのかと思いきや、このページを見た感じ、フィクション作品も結構たくさんあるようです。

【ファンタジージャンル作品】

https://kakuyomu.jp/special/entry/anatanomachi_02

前回の特集は「応募数の少ない県 10」で、個人的にはその経過が気になっているのですが、今回は残念ながら更新されませんでした。

(がんばれ島根～！)

とはいえ締切は割と先ですし、この他にもまだ色々な特集ページが出てくると思うので、小まめにチェックしたいです。

11月3日にとある目的で京都へ行ってきました！

というわけで写真をアップ。

長いので数回にわけてお送りしたいと思います。



こちらは行きの阪急電車ですが、運よく京とれいんに乗れました。

京とれいんは土日祝日運行の特急列車。

下の写真にも見られる通り、内装が非常に凝っています。



席が広い！

椅子に畳が使われている！

これは乗っただけでテンションが上がりますね。

さてさて。

最初の目的地は嵐山です。



阪急嵐山の駅前の様子。
かな〜り寒いですが、非常にいい天気です。

さあ、いざ出発！



木々は少し色付いてきたものの、紅葉にはまだ早いかなという感じ。
とはいえ飛び石連休ということで、お客さんは予想通りいっぱいでした。

下は観光名所の渡月橋。
亀山上皇が「くまなき月の渡るに似る」と称したことが名前の由来だそうです。



実は今回の目的は嵐山観光ではなく、ただ乗換でこの道を通っているだけですが、何気ない風景も見入っ

てしまうほど美しいのが京都の魅力ですよね。

特に自分は大学が京都だったので、ここへ来ると若い頃を思い出します。

ああ……。

あの頃はまだワナビじゃなく、真面目に生きていたっけ……。

(今も真面目にワナビですが)



この橋を渡ると嵐山のメインストリート。

さらにまっすぐ進んで行くと嵐電の嵐山駅へ到着します。

真っ赤な駅の建物が青い空に映えています。



そういやここ刀剣乱舞のスタンプラリーで来たような……。

(当時の様子)

確かあの時は1月でしたが、あれから1年近く経ったなんて、ちょっと信じられません。

月日が流れるのは本当に早いものです。



さてさて。

ここから電車に乗って移動します。

長くなるので今回はここまで。

次回は映画村の様子をお届けする予定です。

【次回へ続く】

こんにちは、らくだです。

引き続き京都巡りの写真をアップします。

こちらは移動中に偶然見かけた、パトカー仕様のラッピング電車。
嵐電はアニメ作品だけでなく、色々な方面とコラボしますね。



さて、映画村へゴー！

今まで映画村の最寄駅は「太秦広隆寺」でしたが、今年4月に「撮影所前」という新駅が出来ました。

ただしこの駅を利用した場合、裏口からの入場になります。



裏口はこんな感じ。

当然ですが正面ゲートより地味です。

下はチケットの売場ですが、裏口なのでガラガラでした。

正面が混んでいる場合あえて裏口へ行くのも手かもしれません。



ちなみに映画村って、アニメコラボが盛んなせいなのか、土日祝日は意外とお客さんが多いんですよね。
(いや、意外と言っちゃ失礼ですが……)

最近は閉園してしまう遊園地も多いですが、映画村は歴史もありますし、今後も末永く存続して欲しいです。



この建物の奥にメインエリアへ向かう通路があります。

メインエリアへは東映京都撮影所の間を歩いて行きます。

多数のスタジオがありますが、警備員が見張っているので、中に入ることはできません。



それにしてもいい天気！

ああ……。

青空って素晴らしい……。

(普段は引きこもりなので特にそう感じる)



さて。

そうこうするうちに、メインエリアへ到着。

先程入口にもありましたが、忍者のオブジェが至る所に。

遠目だと本物に見えるので、一瞬ビックリしてしまいます。



下の写真はオブジェではなく本物。

おいらん道中のパレード(?)です。

裏口はちょっと心配になるくらいガラガラでしたが、ここまで来るとさすがに多数の人で賑わっていました。



長くなるので今回はここまで。

次回は屋内イベントの様子をお届けします。

投稿と無関係で申し訳ないですが、もうしばらくお付き合いください。

【次回へ続く】

皆様こんにちは。

今回も引き続き映画村の写真をアップします。

まずはコチラ。

敷地内を散策中に風情ある池を発見。



うんうん、枝垂れ柳がいいねえーと思って池を見ていたら。

え……？

ひょっとしてゴジラ……？



待てよ！

ゴジラって別会社だろ！

っていうか世界観どうしたんだ！

とひたすら焦りましたが、現在はたまたま恐竜イベント期間だったようで、その演出の一環でした。

そうだよね……。

ゴジラは東映じゃなくて東宝だもんね……。



屋内エリアでは「ぐでたま」のイベントを開催中。

1月はここが刀剣乱舞エリアでしたが、今回はさすがに客層が違い、子供やファミリー層に大人気でした。



新選組だと思ったら漢字が少し違った件。

会場の中へ入ると、ぐでたまの人形が。

座布団2枚かと思いきや、白いのは卵の白身で、身体の一部(?)でした。



下は、ぐでたまのお尻を撫でるコーナーなのですが……。

たくさん撫でられ過ぎたせいか、お尻にでっかい穴が開いて綿がはみ出すという、気の毒な状況になっていました。

プリケツが台無し！



みんな、お尻は優しく撫でようね！

(注：ぐでたまの話です)

すぐ近くにはプリキュアコーナーもありました。



うむ……。

プリキュアは初代しかわからない……。

この他にも東映アニメのセル画コーナーが。

古い物から最近の物まで、ズラリと並んで壮観でした。



懐かしの一休さん。

最近の作品ではセーラームーンやワンピースなどのフィギュア展示も。

え……？

セーラームーンって最近だよね……？

(素でそう思ってしまう世代)

長くなるので今回はここまで。

細かく分けてしつこいですが、あと2回続編をお送りします。

【次回へ続く】

皆様こんにちは。

今回も引き続き映画村についてです。

現在映画村では「劇場版・艦これ公開記念スタンプラリー」を開催中。
実はこれが今回の主目的だったりします（スタンプラリー大好き人間）。

さあ！

はりきってまいりましょー！



前回書いた通り一階はぐでたまに占領されており、艦これコーナーは二階にひっそりとありました。

まずは長門と陸奥がお出迎え。

場所は二階に上がって左へ曲がったところです。



映画村自体は結構混んでいましたが、艦これコーナーにはあまり人影がなく、落ち着いて過ごすことができました。

なおイベントの詳細は下記に。

コラボ期間は9月17日～12月4日と結構長め。

【映画村ホームページ】

<http://www.toei-eigamura.com/event/detail/139>



向かいのパネル。

第六駆逐隊のみなさん。

艦これはゲームとアニメでかなり絵が違うので、パッと見ると一瞬「誰!？」ってなりますよね……。



このパネルの隣には、映画版の原画展示が。

ただしネタバレを防ぐためか、そちらの方は撮影禁止でした。

そして下はスタンプ台。

映画村のスタンプは赤色の大和です。



映画村のスタンプ無事にゲット！

次の目的地は京都市営地下鉄の太秦天神川駅。

台紙には徒歩 12 分と書いてありますが、さすがに遠いので嵐電に乗りましょう。



途中で立ち寄ったローソン。

そういえば今ローソンでも艦これコラボをやっていますね。

ただし映画村の前という立地のせいか、特典グッズはもうなくなっていました。



こちらは電車待ち中の風景。

立派な門は国宝第一号の弥勒菩薩像を擁する広隆寺です。
そちらにも非常に惹かれますが、今日は時間がないのでまた後日。



ようやく天神川駅に到着すると、スタンプラリーのポスターが。

長くなるので今回はここまで。
次回で終わる予定なので、よろしくお願い致します。

【次回へ続く】

こんにちは、らくだです。

5回にわたってお送りしましたが、京都シリーズも今回が最終回です。

べ、別に投稿記事がネタ切れなわけじゃないんだからねっ！（墓穴）



2個目のスタンプは京都市営地下鉄の太秦天神川駅でゲット。

東西線の終着点で、2008年に開業した駅。

ちなみに自分が大学生の頃はありませんでした。



こちらは次のスタンプ、京都市役所前駅の様子。

すでに開催期間も中盤なせいでしょうか。

スタンプラリー参加者が他におらず、なんだかちょっとだけ寂しい気分。



4 個目のスタンプスポット、烏丸御池駅の改札前にて。
子供の頃「烏丸（からすま）」を「とりまる」だと思っていたのは自分だけではないはず。

そして最後のスタンプは、イオンモール KYOTO 内に。



しかし疲れたよ……。
歩きまくってヘトヘトだ……。

というわけで、フードコートで 31 アイスを食べた後、5 階にある T・ジョイ京都（映画館）へ向かいます。



おー、ここですね！

スタンプ台は売店の一角にありました。
無事にコンプして特典の缶バッジをゲット。
(売店のレジで台紙を見せると貰えます)



目標達成してイオンモールを出ると、いい具合に薄暗くなっていました。

店の前の広場にはトナカイのオブジェが。
そういえばクリスマスも近付いてきましたね。



駅前の京都タワーもライトアップされていました。

この後帰ろうとしたら JR 京都線が事故で止まっており、阪急はホームに入れないほどの激混みで、結局三条まで戻って京阪電車で帰宅したという……（汗）



とにかく色々大変でしたが、楽しい一日になりました。

ここまで読んでくれてありがとうございました。

次回からは通常の小説投稿ブログに戻ろうと思います。

【終わり】

前回の記事の最後に【終わり】と書いたら、それを見たリアル知人に、「らくだ図書館ついに終了か」と言われた件。

ちゃうねん……。

京都シリーズが終わっただけや……。

ってというか、「ついに」ってことは、終わって欲しいのか！？（被害妄想）

さてさて。

10日以上遅れての紹介（汗）ですが、MFJの最終結果が発表されています。

第一期の分なので、6月締切分ですね。

受賞された方々はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/>

クロスレビュー（編集者コメント）を読んだのですが、「作者がブレーキを踏んでいるように見えたので、より一層自分自身の内面と向き合って欲しい」と書いてあって、投稿していない自分まで何故かドキッとしちゃいました。

そうだよね……。

そういうのって隠していても読者には伝わるよね……。

まあ自分の場合ブレーキを踏むというか、いらぬ部分でアクセルぐっと踏み込んで、毎回大事故を起こしている感じですけど。

とにかく作者の内面や姿勢というのは、良くも悪くも作品を通して伝わってしまうものなので、執筆時には気を付けたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

ウェブ拍手コメントで、「スニーカー大賞の途中経過と応募要項の件が記事になっていない」とご指摘を受けたので、取り急ぎ記事を作成。

まず途中経過の件ですが、今のところ、3次まで発表されています。
スニーカーは3次の次が最終なので、この中から受賞作が決まるわけですね。

【第22回（春）途中経過】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

そして新しい応募要項の件ですが、スニーカーも時代の流れを受けて、完全ウェブ応募になりました。

【第23回応募要項】

<http://sneakerbunko.jp/award/boshu.php>

主な注意点は、

- ・ 次回から紙原稿での投稿は不可
- ・ 保存形式はテキスト「.txt」、ワード「.doc」「.docx」、一太郎「.jtd」
- ・ あらすじは1200～1600字程度、他の新人賞より多いので注意
- ・ 一度投稿した原稿の取戻しや上書きは不可
- ・ **過去に応募した原稿を改稿しての再投稿も不可**

特に赤字部分は要注意。

改稿での再応募が可能な賞もありますが、スニーカーでは禁止されているようです。

このブログでは各賞の最新情報を提供できるよう努めてはおりますが、抜けている部分も多いと思うので、他にも「これを記事にして」という要望がありましたら教えてください。

こんにちは、らくだです！

全日本フィギュアの単日券、4日間ともオール落選でした！

ちょっと待って……。

スケジュール帳に書き込んだのに、4日とも落選なんて悲しすぎる……。

にしても落選という単語は胃が痛いので、せめて「はずれ」とか、「抽選に漏れました」とか書いて欲しいです。

さてさて。

今日の話は最近の当ブログについて。

最近のらくだ図書館は、賞の紹介や通過発表の話題がメインで、自分自身の投稿話を正直あまり書けていません。

自分の話が少なくなった理由は、長年やってきてネタ切れというのもあるんですが、最近通過する回数がめっきり減ってしまったので、それが一番大きいですね……（遠い目）

それゆえ情報紹介がメインになってますが、ただ単に情報を流すだけなら、まとめサイトの方が早いし正確なわけで。

なのでこのブログでは新人賞の情報などを紹介しつつ、それに対する自分なりの感想や考察を書いたり、投稿者ならではの視点を大事にいつも更新しています。

以上。

特に面白いオチありませんが、最近一人で考えている件でした。

ただ自分の話は比較的減ってますが、集英社の1次発表待ちだったり、ノベル大賞に投稿予定だったり、活動自体は地道にしているので、またおいおい書いていきたいです。

こんにちは、らくだです。

コメント欄を見ていると、「この賞の話題が抜けてるから書いて」という要望がある一方、「これだけ新人賞が多いのだから無理に網羅する必要はない」、「興味のある賞だけ紹介すればいい」という気遣いもあったりして、毎日勉強になっています。

こう、なんというか。

当たり前のことなのですが、同じブログを読んでも、読者の反応は様々だなーと。

たまに相反する意見や感想もあったりするので、どうすればいいのか戸惑ってしまう瞬間もありますが、上手くバランスを取って更新していきたいです。

そう……！

その能力は作家になってから役に立つはず……！

さて本題。

電撃の1次通過以上の方々に、選評が発送された模様です。

ツイッターなどを見ていると、やる気を出している人がいる反面、落ち込んでいる人もいますが、つらい経験を糧に一回り成長できたら素敵ですよ。

なんて話は参加してないから言えることで、「おままとレベル」と書いてあった日には、自分も荒れに荒れまくったわけですが……（涙）

とにかく投稿を続けていると悲しい出来事も多いですが、デビューしてビッグになればそれもきっと笑い話にできるので、そのためにも前向きに取り組んでいきたいと思います。

そして冒頭の話に戻りますが、コメントは要望であれ感想であれ嬉しいので、是非たくさんお寄せください！

こんにちは、らくだです。

以前から告知されていた、12月1日（木）実施の「カクヨムのジャンル再編成」について、詳細が発表されました。

詳しくは下記参照。

かなり多くのユーザーに影響する変更です。

[【12月1日（木）よりカクヨムのジャンルを新編成に移行します】](#)

<主な変更>

「ファンタジー」 ⇒ 「異世界ファンタジー」

「現代アクション」 ⇒ 「現代ファンタジー」

「恋愛・ラブコメ」 ⇒ 「恋愛（女性向け）」・「ラブコメ（男性向け）」

「歴史・時代」 ⇒ 「歴史・時代・伝奇」

「その他」 ⇒ 「詩・童話・その他」

（注：自動的に切り替わるのでジャンルが違う場合は手動で直す必要あり）

自分も作品を掲載しているので、この変更の影響を受けるわけですが、新ジャンルをどうするか悩み中。

激烈ワナビ戦なあ……。

あれラブコメってほど恋愛要素ないし……。

ここはやっぱり現代ファンタジーにしておくのが無難かな……。

らくだ図書館カクヨム版の方は、誰がどう言おうと「エッセイ」ジャンルなので、悩まなくてもいいんですけど。

まあ変更まで2週間くらいあるので、どうするか考えてみようと思います。

大阪府枚方市にある「ひらかたパーク」で、10月9日～1月9日まで、ドラクエミュージアムが開催されています。

やったね！

待ちに待った大阪開催だよ！

というわけでレポートを掲載。

最近おでかけ記事が多いですが、どうぞお付き合いくださいませ。



こちらは京阪のコラボ電車。

内装や外装がドラクエ仕様になっています。

30年来のドラクエファンとしては、乗っただけでテンションアップ。



ひらかたパークの最寄駅、枚方公園駅のホームにて。

イベントに合わせてドラクエコラボ中らしく、待合室も下の写真の通り、モンスターの絵でラッピングされていました。



そして一番の注目は自動改札。
通過するとレベルアップのファンファーレが流れます。

チャラララ、タッタッタ〜♪

161114 04

ドラクエファンには嬉しい演出ですが、しかしコレ、普通のお客さんはビックリしそう（汗）

それにしてもいい天気。
まさしく遊園地びよりです。



最寄駅からパークまでは、徒歩5分といったところ。

というわけで無事に到着。
入園ゲートはちょっとディズニーランドのような雰囲気です。

それにしても、近ごろ閉園してしまう遊園地が多い中、ひらかたパークは長年頑張っていますよね。



ああ……。

ここへ来るのは小学生以来……。

当時は隣接市に住んでいたのですが、子供だけで行ったので乗るバスを間違えてしまい、ものすごく歩いた思い出があります。



ゲート付近にはクリスマスの装飾がありました。

サンタさん。

お願いだから受賞をください。



以上、ドラクエミュージアム（1）でした。

今回は到着するまでの紹介でしたが、次回はいよいよ、ミュージアム内の様子をお届けします。

【次回へ続く】

ついに来ました！
ドラクエミュージアム！

会場はわざわざ探すまでもなく、入園してすぐ右手にありました。



ちなみにこちらは別料金。
ひらパーの入園チケットだけでは参加できません。

料金は 1,900 円ですが、それだけ見応えもあったしお土産も買ったので、結果的には満足満足。



会場付近にはモンスターのオブジェが。
特にこのキングスライムは行列が出来ていました。

待機列（この時は並んでませんでした）にはゴーレムも。



今では通常モンスターになってますが、そういえばゴーレムって門番でしたね。

スライムタワーもありました。

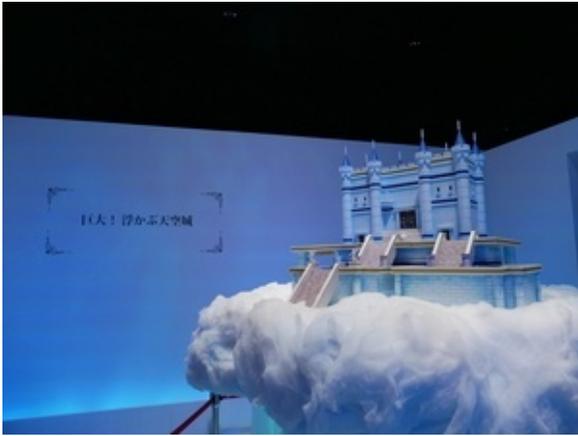
ここでガイドパンフを受け取っていざ入場です。



ここからは撮影可能エリアを中心にご紹介。

まずこちらは天空城。

ブルーの照明が神聖な雰囲気醸し出しています。



天空城……。

まあシリーズにもよりますが、辿り着くの大変ですよね……。

目線を合わせてグッと近寄ると、まるで自分がその場にいる気分。



この他にもロトシリーズの装備展示や、書き下ろしパネルなどがありました。
(そちらは撮影不可)

全体的にはミュージアム+アトラクションという雰囲気でしょうか。



会場の途中ではドラクエ10に登場する新モンスターの名前を募集中。

期間中何度か変わるようですが、現在はこのモンスターでした。

自分は10のみ未プレイなんですが、メガザルロックが乗物化してますね。



以上、ドラクエミュージアム（2）でした。

次回はドラクエ名場面ジオラマを紹介します！

会場の中で一番お客さんが多かった人気エリアです！

【次回へ続く】

ドラクエミュージアム一番の人気は、名場面を再現したジオラマコーナー。

素敵な展示が多数ありましたが、今回はドラクエプレイ時の思い出と共に、その一部をご紹介します。



まずはドラクエ4から。

ライオン 対 ピサロのてさき。

後ろにちゃんとホイミンがいるのが嬉しいですね。

モンスターが仲間になる展開は、当時としては非常に画期的でした。



武術大会に出場するアリーナ。

敵は4体に分裂するベロリンマン。

舞台の上からエンドール王とモニカ姫が見守っています。

この写真では見切れてますが、クリフトとブライもいました。



鉄の金庫の洞窟で奮闘するトルネコ。

トルネコが主役の第3章は、モンスター退治ではなく金儲けが冒険の主目的という、異色のストーリーでした。



ミネア&マーニャ v.s キングレオ。

ドラクエ初の強制敗北バトルとして、記憶している方も多いかと思います。

戦闘前のキングレオの台詞

「お前たちをそのようなもろい生き物につくった神をうらむがよい！」

↑↑↑これ悪役っぽくて好き。



ここからはドラクエ5。
再会したキラーパンサーにビアンカのリボンを見せるの図。

え？
キラーパンサーの名前？

自分はもちろん「ゲレゲレ」を選びましたよ！



運命の花嫁選び。

ここでルドマンに話しかけるのはお約束。
DS版になると花嫁候補に更にデボラさんが加わります。



石化した主人公を助けに来る、サンチョと双子の子供たち。

そして下は過去の自分と邂逅するシーン。

個人的にはここがドラクエ5のクライマックスかなと思っています。



以上、ジオラマコーナーの紹介でした！

しつこいですがまだ続きます。

次回はモンスターカフェ（コラボフード）の話題をお届けします。

【次回へ続く】

ドラクエミュージアムの続きです。

今回はモンスターカフェをご紹介します。

……とその前に、ドラクエ6のジオラマをちょっとだけ掲載。



テリー v.s ドラゴン。

仲間に加えるのが遅すぎて活躍の場がないテリーですが、初代ドラクエモンスターズでは一応主役にもなりました。



こちらはダークドリーム。

ドラクエシリーズ最強の裏ボスとも呼ばれています。

さてさて。

ここからはモンスターカフェをご紹介します。



コラボフードを提供するカフェは、会場を通り抜けた最後にあります。

店構えも雰囲気があっていいですね。

ちょうどお昼時だったこともあり、たくさんの人で賑わっていました。



うーん……。

何にしようか……。

悩んだ末に注文したのは、

- ・ ミミックのスペシャルボックスセット
- ・ ばくだんいわの肉巻きおにぎり
- ・ スペシャルコースター付ドリンク



ミミックセットには、

- ・ドラゴンのトルティーヤフランクフルト
- ・スライムナイトのフライドポテト
- ・キメラのサンドウィッチ

が入っています。

それぞれ単品で買うよりもお買い得。



トレーに敷いてある紙にも注目。

モンスターの4コマ漫画が書いてあります。

そして、下の写真はトレー返却口ですが……。



説明がモンスター返却口！

食品のパッケージがモンスターだからでしょうか。
何気ない遊び心が素敵です。



以上、モンスターカフェの紹介でした。

次回は会場の外の様子をお届けします。
投稿記事の更新が止まっていますが（汗）、明日で最後なのでよろしくお願いします。

【次回へ続く】

皆様こんにちは。

今回はドラクエミュージアムシリーズの最終回です。

まずはコチラ。

前回画像を載せ忘れた、ばくだんいわおにぎり。



微笑するばくだんいわ。

中身は普通の肉巻きおにぎりですが、食べるのちょっとドキドキしますね。

カフェの奥には売店もありました。

その名もあらくれ商人のプレミアムバザー。

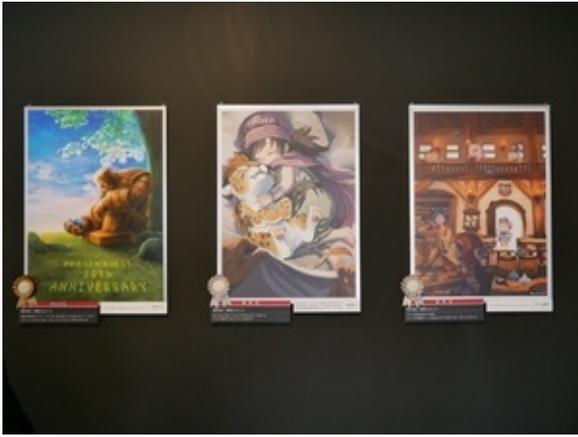


お土産にばくだんいわ Tシャツを購入。

今後執筆中に着用しワナビ界のばくだんいわを目指そうと思います。

会場を出るとファンアートのコーナーが。

ファンから募集したイラスト 100 点が特別に展示されています。



どれも素敵な作品ばかりでしたが、もっとも印象に残ったのは下の絵。

ちょ……！

こんなんズルイだろ……！

これを思いつく作者さんのセンス好き。



ネタにされがちなイザヤール師匠。

ゲーム内ではいたって真面目なキャラなんですけどね。

部屋の一画にはダンボールアートのコーナーもありました。



最後に会場を出たところで、ルーレットに挑戦できます。

ドラクエといえばカジノ！

カジノといえばルーレット！

スタッフがリールを回してくれて、そこに玉を投げ入れるのですが……。



底辺ギャンブラー常木らくだ、ダブル0にホールインワン（汗）

しかし当たってもシールの絵柄が選べるだけで、当然ながらお金がもらえるわけではありません。

くっ……！

これが本物のギャンブルなら……！



ミュージアムの紹介はここまでですが、ひらかたパークの園内にも、あちこちにドラクエの装飾がありました。

そして帰りの電車もドラクエ車両。
歩き回って疲れましたが、とても楽しい一日でした。



以上、ドラクエミュージアムの紹介でした。

入場料金がやや高めではありますが、ファンなら確実に楽しめる催しなので、お近くの皆様はぜひ出掛けてみてはいかがでしょうか。

【公式サイト】

<https://dqmuseum.jp/>

皆様こんにちは！

ワナビ界のばくだんいわ常木らくだです！

しばらくドラクエの話が続きましたが、投稿に関する記事も、もりもり更新していきたいと思います。

さっそく今回の話題ですが、グリムノーツ×カクヨム「ゲームシナリオ用小説コンテスト」について、中間結果が発表されました。

リンクは下記。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/grimmsnotes_scenario/nominated

- ・ 応募総数 249 作品
- ・ 中間選考通過 3 作品
- ・ 通過率 1.2 %

<参考：今までのコンテストの応募数>

- ・ 第1回 Web 小説コンテスト 5,788 作品
- ・ エッセイコンテスト 576 作品
- ・ 漫画原作小説コンテスト 2,336 作品

エッセイの応募数が少ないのはまあ何となくわかるんですが、今回のコンテストはさらにその半分以下なので、二次創作の賞は「まだまだこれから」という状況みたいですね。

ちなみに最終結果は11月中に発表されるとか。

この中からどの作品が受賞するのか、更新を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

久し振りにえんため大賞の公式サイトを見たら、自作ゲーム部門の選評が公開されていました。

以下リンク。

どうやら 15 日に更新された模様です。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/18gamebuild.html>

- ・ 応募総数 44 作品
- ・ 1 次通過 13 作品 (約 30 %)
- ・ 最終候補 7 作品 (約 16 %)
- ・ 受賞作品 6 作品 (約 14 %)

受賞者コメントで興味深かったのは「自分の考えた妄想世界を具現化するためにゲームを作っている」という意見。

確かにそれって創作の基本ですよ。

ただ、こう、なんというか。

具現化にどの手段を使うかは、人それぞれ色々あるなあーと。

たとえば絵心のある人はイラストを描くし、プログラミングが得意な人はゲームを作るし、音楽センスがある人は作曲をする……等々。

自分の場合は文章を書いているわけですが、せっかく具現化の手段に「小説」を選んでいる以上、誇りを持って活動したいなと感じました。

ゲーム実況部門の最終結果- 2016.11.21 Mon

こんにちは、らくだです。

寒さが沁みるこの季節は、湯たんぽが手放せません。

ただし自分は致命的なドジなので、寝ている時によく足をぶつけます。

(固いんだよアレ……)

というわけで今日の本題。

前回えんため大賞自作ゲーム部門の結果を紹介しましたが、ゲーム実況部門も最終結果と受賞作品が発表されました。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/18live.html>

- ・ 応募総数 95 作品
- ・ 最終候補 12 作品 (約 13 %)
- ・ 受賞作品 3 作品 (約 3 %)

「運だけで指原莉乃 (HKT48) に告白される!!」って……。

審査員コメントにも書いてありますが、そんなゲームがあったことが驚きだぞ……。

とにかくゲーム実況においては、「実況者はもちろん視聴者も一緒に盛り上げられる」という部分が、やっぱりポイントみたいですね。

ある意味小説もそうですが。

書き手自身が楽しいだけでなく、読み手も楽しめるのが重要なわけで。

まあ言うは易しで実践は難しいですが、少しでも読み手を楽しませる文章が書けるよう、小説もブログも日々精進したいです。

こんにちは、らくだです。

久し振りにブログの管理画面を詳しくチェックしたら、「電撃 選評来ない」という検索ワードを発見しました。

今年は確か 11 日に発送されたはず。

なので 1 次通過以上したのに来ない場合は、編集部へ問い合わせるのがよろしいかと。

ちなみに 1 次落選だった場合は……。

うん、まあ、評価シート欲しいよね……（目そらし）

さて本題。

11 月 21 日にファンタジア大賞の 2 次結果が更新されました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php

- ・ 応募総数 602 本
- ・ 1 次通過 122 本（約 20 %）
- ・ 2 次通過 38 本（約 6 %）

3 次結果は 12 月 20 日ごろ更新予定。

発表時期を予告してくれるのは、投稿者にとって嬉しいですね。

自分はファンタジアは不参加でしたが、今回はお名前を知っている方もいることですし、来月の更新を楽しみに待ちたいです。

スマホのスケジュール管理アプリが「クリスマスの予定を入れよう！」とプッシュ通知で煽ってくる件。

うるせえ！

予定なんかねーよ！

(逆ギレ)

というわけで年末が近付いてきましたね。

年が明けるとすぐにノベル大賞の締切もあります。

そんなコバルトノベル大賞ですが、このたび公式ホームページ内に、応募マニュアルが公開されました。

【応募マニュアル】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/outline/manual>

主な内容は、

- ・ ノベル大賞応募フローチャート
- ・ 小説の完成度を UP する 3 つのコツ
- ・ Web 投稿フォームの使い方を覚えよう
- ・ 応募要項を守った「理想の応募原稿」を作ろう

ちょっと待つて……。

ノベルの原稿って 1 枚に複数ページ印刷してもいいんだ……。

現在はウェブ応募が主流なので、紙原稿で投稿する人は少ないでしょうが、これは自分も初耳の情報でした。

その他にも様々なアドバイスが載っており、他の賞にも当てはまる内容になっているので、皆様チェックしてみてもいいかもしれません。

刀剣乱舞ストア 3 - 2016.11.24 Thu

投稿とまったく関係ない話題ですが、自分は刀剣乱舞と艦これ両方やっているの、今回はイベントが重なって大変です。

時間たりない……。

これはもう執筆時間を削るしか……。

(ダメワナビ)

それはそうと、京都の刀剣乱舞ストア 3 へ、知人と一緒に行ってきました。



場所は河原町駅から徒歩約 5 分。

寺町通の商店街の中にあります。

1F はアニメイトカフェで、4F はゲーマーズという、オタクビルの一角です。



正直こういう立地の方が嬉しいわ……。

前は OPA (ファッションビル) の中で場違いだったもん……。

狭い階段を上がって 2F へ着くと、キャラクターパネルがお出迎え。



長谷部と燭台切。
中央には花丸アニメの鈴が再現されています。

あとはパネル展示なども。
店内はそんなに広くないですが、色々と趣向を凝らした内装です。



花丸アニメは毎週ゆるい感じで好き。

キャラクターの紋入り提灯もありました。
下の方にまだスペースがあるので、アニメの進行と共に増えるのかも。



グッズはこんのすけクッションを購入。

しかしそれを見て「こんのすけ怖くね？」と主張する知人。

え……？

こんのすけ可愛いよね……？

他にも下の写真の鳥居（？）や、絵馬に応援メッセージを書くコーナー等があり、多数の人で賑わっていました。



というわけで。

刀剣乱舞ストア 3 の話題でした。

来週は艦これ映画に行ってきます！

小説執筆の時間ありませんが、まあどうにかかりますって！

(フラグ)

クリスマスの予定？

そんなもんないわコンチクショー！

という心の叫びを書いたら、ブログの読者様から、お誘いのコメントが到着。

【また落選した！ あの、常木さん。クリスマスにご予定がないのでしたら、一緒にスニーカー文庫襲撃しませんか？】

すみませんがお断りします（汗）

でもクリスマスに襲撃する発想は好き（謎）

というわけで。

スニーカー大賞（春締切）の最終結果が発表されました。

以下、公式サイトへのリンク。

【発表ページ】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

受賞された皆様はおめでとうございます。

惜しくも落選してしまった方も、この悔しさを次へ繋げましょう。

というか、このタイミングで落選したってことは、コメントをくれた方は最終選考に残ったんでしょうか……？

それってスゴイですよ。

自分は小説投稿の最終は経験がないので、そこまで行ける実力を尊敬してしまいます。

そんなこんなのスニーカー大賞ですが、次は秋締切の1次発表があると思うので、そちらの更新も楽しみに待ちたいです。

皆様こんにちは。

今回は完全なる雑談です。

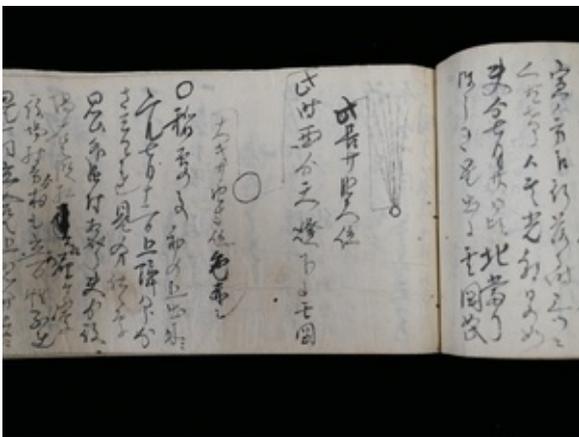
だいぶ前に他界した祖父の遺品を整理していたら日記のような物を発見。



文化三年と書いてある表紙。

それっていつだと思って調べたら、ウィキペディアによると 1806 年。

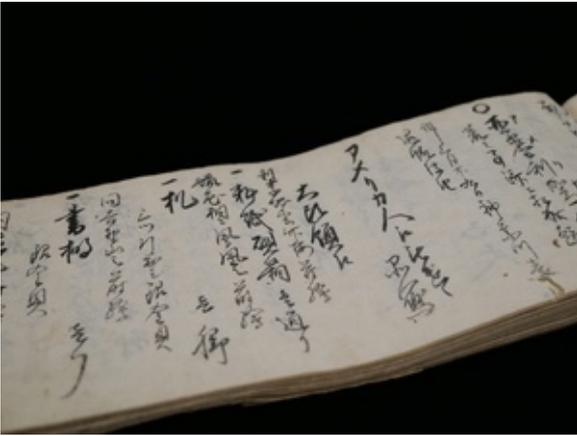
つまり祖父の日記ではなく、さらに先祖の日記らしい。



内容はまったく読めない（汗）

下のページにはアメリカ人という文字が。

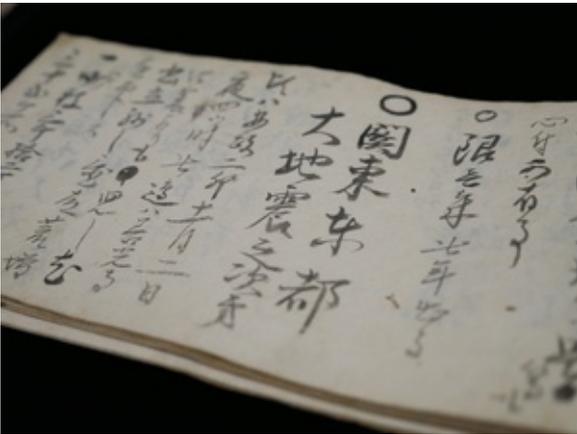
ただしアメリカ人が何なのか、それはまったくわからない。



下はおそらく関東大地震に関する記述。

全部読めたら面白いのに……。

古文(?)の専門家なら読めるのかな……。



それにしても。

文章が持つ力って改めて凄いですよね。

これを書いた先祖がどんな人物だったかはまったく知りませんが、ここに書いてある文章を通して、彼が見たことや感じたことを200年後の今も追体験できるわけです。

自分も一応文章を書く人間なので、その事実に関心を覚えました。

逆に言うと、後世の人が見るとすると、日記にあまり変な話は書けませんね。

いつも真面目に書いてはいますが、さらに気を付けようと思いました。

こんにちは、らくだです。

すでにチェック済の方もいるかもしれませんが、「コンテストで期待する作品はコレだ！」という特集ページが、カクヨムさんの公式ブログに掲載されています。

各編集部ごとに載っていて、現在は第3弾まで公開中。

次回コンテストの参加予定者は、確認するといいかもかもしれません。

以下、それぞれのリンク。

[【1. 富士見 L 文庫編集部】](#)

[【2. スニーカー文庫編集部】](#)

[【3.MF 文庫 J 編集部】](#)

自分もすべて入念にチェックしたのですが。

これって、まあうん……。

期待する作品というよりも、自レーベルの紹介だよね……。

ただ、そのレーベルの代表作に詳しくなれば、各編集部が目指しているモノも理解できるので、一見宣伝のようですがそういう意味で役に立つ特集かなと。

今のところ上記3つですが、他の編集部もこれから順次登場するようなので、更新を楽しみに待ちたいです。

ちなみに第2回コンテストは、12月22日（木）に開始予定。

自分は今回は参加しない予定ですが、せっかくのイベントですし、読者として盛り上げたいと思います。

常木らくだです。

今回は久し振りに翻訳の話題です。

何度も紹介している「いたばし国際絵本翻訳大賞」ですが、第 22 回（2015 年）の受賞作が絵本になって出版されました。

詳細は板橋区の公式サイトに掲載。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【告知ページ】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/057/057280.html

応募作品が出版されるって、やっぱり夢がありますよね。

特に翻訳のコンテストとなると、毎月のように締切のあるライトノベルの賞と違って、実施数が圧倒的に少ないですし。

いやまあ……。

毎月のように締切があっても受賞できるわけじゃないですが……。

（自分で言って自分で凹む）

とにかく翻訳の賞が少ない状況の中、いたばし絵本は毎年 1,000 件近い応募数を集めているので、これからも盛り上がって欲しいです。

ちなみに今年の締切は、明後日の 11 月 30 日（水）。

自分はエントリーしませんでした。参加予定の皆様は頑張ってください。

【応募要項】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/078/078570.html

こんにちは、らくだです。

10月に最終発表があったビーンズですが、受賞者コメントと選評が到着しました。

受賞された皆様は改めておめでとうございます！

【発表ページ】

<http://shoten.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

- ・応募総数 353 作
- ・1次通過 20 作（約 5.7 %）
- ・2次通過 8 作（約 2.3 %）
- ・3次通過 5 作（約 1.4 %）
- ・受賞 2 作（約 0.6 %）

選評を読むと勉強になりますが、特に気になったのは下の一文。

「筆力があるのにオリジナリティを感じる事ができず新人賞作品としては評価がしづらいです」

確かにそうかもしれませんよね。

これといって特に個性がなかったら、その人を受賞させる意味がないですし。

（もちろん最終に残ったくらいなので、その作品も十分に面白いと思いますが）

とにかく新人賞では、手堅くまとまった作品を送るよりも、自分らしさを前面に押し出していった方が、選ぶ側も評価がしやすいのかなーと感じました。

それはさておき、ビーンズの選考はこれで終了。

次のイベントは受賞作の刊行と来年の締切なので、どんな作品が登場するのか、来年もまた選考・発表を楽しみにしたいと思います。

第4回オーバーラップWEB小説大賞- 2016.11.30 Wed

こんにちは、らくだです。

第4回オーバーラップWEB小説大賞の開催が決定しました。

公式サイトはコチラ。

今年は創刊5年目ということで、よりパワーアップした模様です。

【公式サイト】

<http://over-lap.co.jp/narou/narou-award4/>

- ・ 応募締切 2017年2月25日(土)
- ・ 規定字数 10万字以上(完結・未完は不問)
- ・ 参加方法 「小説家になろう」で作品を公開し該当キーワードを設定

ちなみに2月25日は第1ターンの締切で、以後3か月ごとに締切があるようです。
年4期のターン制という部分は、通常のOVL大賞と一緒にですね。

それにしても、個人的に思うのですが……。

最近ネットのコンテストがものすごい応募数を叩き出していますが、その一因として、同じ作品の使い回し参加が多いことが挙げられるんじゃないかなーと。

公募だって使い回しはありますが、手軽さがまったく違いますもんね。
なにしろネットのコンテストの場合、キーワードを変えるだけですからね。

もちろん規定違反ではないですし、デビューのチャンスが増えるという意味では、投稿者にとっていいことですが。

とにかくこのコンテストも応募数が多くなりそうなので、どんな展開になるのか経過を見守っていきたいと思います。